

平成25年12月17日

上川町長 佐藤 芳治 様

上川町公営事業等審議会

会長 西木 和義



上川町水道ビジョン策定について (答申)

平成25年6月28日付け上建水241号で諮問のあった「上川町水道  
ビジョン策定について」、別紙のとおり答申します。

上川町公営事業等審議会

会長 西木 和義

副会長 立岩 克文

委員 石井 拓子

委員 西野目 智弘

委員 松浦 達也

委員 端場 誠二

委員 高橋 智樹

委員 鶴野 宏美

委員 福田 多鶴子

委員 藤田 美智子

## ○諮問事項「上川町水道ビジョン策定について」

本審議会は、平成24年11月29日を初回として9回にわたり、水道事業の現状について説明を受け、町からの諮問事項を審議してまいりました。

この度諮問のあった「上川町水道ビジョン（案）」の内容は、水道事業の現状と課題を分析・評価した上で、今後の水道事業の方向性を示しているものであり、これまで説明を受け、審議された事項の総括として整理されたものであると判断いたしました。

水道ビジョンの策定の主旨は、施設の老朽化に対する維持管理の方策及び更新計画を具体的に定めるものとなっており、これらの財政需要に対し料金の見直しなど経営の健全化を図ることとされています。

水道事業は、収益の低下と施設の老朽化による更新など極めて困難な状況に直面しています。この問題の解決に際し、上川町水道ビジョンとして目指す方向を定めたことは評価するものですが、このビジョンに掲げられた現状と課題、その実現方策について確実に実践されることを願うとともに、この計画が10年に及ぶものであることを踏まえたとき、社会情勢の変化を注視し、計画の進捗状況に留意し進められることを要望するものです。

以下、主要項目ごとに意見を述べます。

### 1 水道施設の整備方針について

本町の水道施設の老朽化の状況及びこれに対する更新計画については、先の水道施設整備基本計画において説明を受け、水道ビジョンにおいてもその整備方針について記述されています。

このビジョンでは、水道施設の整備について施設別に年次計画を定めており、特に水道供給の基幹となる浄水場について、老朽化の状況に応じ層雲峡浄水場の更新を皮切りに、10年後に中央浄水場を整備することとしたことは、将来とも安全で安定した水を供給する上で評価するものです。

また、ビジョンに未普及地域解消対策として給水区域の拡張が掲げられており、整備費用については、町の一般会計により整備することが検討されていますが、その維持管理に要する費用は、水道事業会計が負担することが考えられますので、利用者の加入促進に努められるよう要望します。

これら事業化にあたっては膨大な財源が投入されることから、事業を取り巻く情勢変化や経営状況を常に把握し、計画の実施や見直しを柔軟かつ的確に実施されるよう望むものです。

## 2. 経営の健全化について

このビジョンでは、経営健全化の中で、料金見直しをもって収益低下に充て、施設整備を計画的に実施することとしており、経営改善方策の一環として、アセットマネジメントの導入と事業形態の見直しを掲げております。

事業形態の見直しに掲げる簡易水道事業化については、財源の確保など大規模事業を進める上で必要不可欠なものであり、その取り扱いについては慎重に進められることを要望するとともに、同じく掲げられた、広域化の検討及び官民連携の推進により、水道事業における様々な問題の解決を期待します。

なお、上川町水道ビジョンが策定される機会を活用し、今後の水道施設の整備方針や事業運営の方向性について広く町民に周知し、理解を得られるよう特段の配慮を要望するものです。